

【学校の教育目標】

進んで学び たくましく 未来を拓く子

研究主題 **生き生きと追究する児童の育成**

牛牧小学校の「生き生きと追究する」姿

生活科：自らの願いを実現するために主体的に活動する姿

【児童の実態】

- 生活科の学習の進め方が分かり，意欲的に願いに向かって取り組むことができる。
- 自らの願いを言語化したり，願いを達成するために主体的に取り組む姿勢が見られるようになってきた。
- 願いをもとに，考えた根拠をもとに改良したり，工夫したりすることができるようになってきた。
- 自分が考えたことや，気付いたことを言語化し，自信をもって伝えることに弱さがある。
- 考えたことや気付いたことを，仲間同士で交流したり，比べ合ったりすることに弱さがある。
- 単位時間の終末で，自己の変容を自覚する姿が弱い。

【目指す児童の姿】

- 自らの願いをもとに，「○○を使えばこうなるんじゃないのかな」と，見通しをもって追究する姿
- 願いを達成していく過程の中で，自らの願いを達成するためにはどうすれば良いのか考え，主体的に活動していく姿
- 仲間と比べ合うなど，交流を通して，自分の考えを広げ，深め，より願いが達成できそうなものを選択し続ける姿
- 学びの変容を自覚する姿

【生活科部研究テーマ】

生活に関わる見方・考え方を生かしながら，
思いや願いを実現し，よりよい生活を創り出そうとする児童の育成
～仲間と学び合い，気付きの質を高める授業づくり～

【生活科 研究仮説】

生活に関わる見方・考え方を生かし，児童が身近な生活に関わる見方・考え方を活かしながら主体的に学習を進められるよう，教師が適切な働きかけ（声かけ）を行えば，よりよい生活を創り出そうとする児童の育成ができるはずである。

願い

【研究内容 1】 学びを深めるための指導計画の工夫

- (1) 学習前後の児童の意識や願いの位置付け
- (2) 生活に関わる見方・考え方を活かすための指導の明確化

見通し

【研究内容 2】 学びを深めるための指導過程の工夫

- (1) 単位時間の指導過程の工夫
- (2) 視点を明確にした声かけの工夫

気付き

【研究内容 3】 自己の活動のふりかえりの工夫

- (1) 気付きの変容のふり返りの位置付け

ふりかえり